

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月28日		記入者		連絡先 (770) 6600
部 名	生涯学習部	課 名	橋本図書館	課長名	天野 元敬
事務事業名	施設維持管理事業				
予算上の事務事業名	施設維持管理費				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	15130	
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります				
基本施策名	第1節 生涯学習の推進				事業開始年度
施 策 名	第3施策 生涯学習関連施設の整備				平成13年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	図書館法・相模原市立図書館条例・相模原市立図書館条例施行規則				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	維持・管理・補修				▼
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)	生涯学習社会の実現に向けて、市民の様々な学習活動を支援するための橋本地域の新設図書館として、安心して快適なサービスを提供する施設、設備の充実に努め、市民の利用に供する。			(2) 対象 (誰、何)	
				市民 (他に、在勤在学者、広域利用締結市町村住民等)	
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。	○安心 (ミウヰ橋本管理組合による建物集中管理、警備会社による人的及び機械警備、施設賠償責任保険加入等) 通年 ○快適 (開館前の館内大清掃、施工会社による施設保守 (開館前点検による蛍光管球の交換) 等) 通年				
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事 業 費	47,678	45,201	45,033	50,962	50,962
一般財源	47,678	45,201	45,033	50,962	50,962
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	6,408	6,456	6,440	6,440	6,440
事業コスト合計	54,086	51,657	51,473	57,402	57,402
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	施設維持管理事業 (管理費及び光熱水費負担金)			対象名称と単位	負担回数 (月)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	34,491	31,827	32,069	36,470	36,470
対象数	12	12	12	12	12
単位あたり経費(円)	2,874,250	2,652,250	2,672,417	3,039,167	3,039,167
前年度比		0.92	1.01	1.14	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	図書館入館者数（人）	指標式と指標の説明	年間入館者数（人）		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	1,186,330.0	1,205,622.0	1,174,749.0		
目標	0.0	1,186,330.0	1,205,622.0	0.0	0.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	101.6	97.4		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	図書館入館者前年度比（%）	指標式と指標の説明	当年度入館者数／前年度入館者数＊100		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	0.0	101.6	97.4		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	0.0	101.6	97.4		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を享受している。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		図書館サービスを提供し、利用者を満足させるために重要な事項である。常に100万人を超える年間入館者数を考慮すると、現状維持が望ましい。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
既に平成18年度から3年間の計画で、読書席（40脚ずつ）の椅子張替修繕を実施。			限られた経費の中で、利用者の要望に応えるための対応。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			